

1. 事業の実施状況

民間の力を活用し、魚つき保安林という個性を活かした独自の「森の駅 - ケープ真鶴」をソフト・ハード両面から構築することで、未病を改善する拠点を創出する。

森の駅プロモーション事業(ソフト)

森林を楽しむコンテンツを開発し、未病を改善する森のモデルを構築。

平成 27 年度

民間の力を活かし「東京都心をターゲットとした強力なプロモーション」を展開。民間のアプリサービス、プレス・ネットワークを活かした宣伝をはじめ、公共空間での屋外広告や、映像素材を活かしたデジタルサイネージを都心・関東圏の主要駅を網羅する形で展開する等、癒しを求める潜在的な顧客が最も見込める東京都心をターゲット化し、短期集中的・全面的プロモーションを展開した。

また、長期的なプロモーションとして移動販売車(魚介類販売)を取得し、学生による提案を活用した、目を引く効果的なラッピングを取り入れ、未病を治す食として「魚付き保安林の恵み」である真鶴の海の幸を広く提供し、「森の駅」、「未病を治す道」のPRのため動く広告塔としても活用する。

デジタルサイネージ

(JR東日本首都圏 19 駅にて映像放映)

小田急TV スポットCM (小田急全線で映像放映)

パノラマ東京 ポスター B0×10 枚

移動販売車ラッピング (KDDI アプリ搭載)

ケープ真鶴お林ステーション整備

「森の駅プロモーション」WEB サイト開設



デジタルサイネージ



小田急TV



パノラマ東京



移動販売車ラッピング



お林ステーション

平成 28 年度

「森の駅」及び「魚付き保安林」を観光の核資源とするために、民間企業・NPO法人等との協力体制のもと各種イベントを実施し、魅力的なコンテンツを開発していく。

ウォーキングイベント (8/20 実施)

【森の中での写真講座】

真鶴町観光ボランティアガイドによる御林ウォークと写真家による写真講座を実施。

食イベント (9/25 実施)

【隣人祭り~Forest Table~】

フランス・パリで始まった食事会“隣人祭り”を真鶴の素朴な家庭料理を楽しみながら開催。

木育イベント (10/23 実施)

【森のおもちゃ美術館】

木のおもちゃを通じ、木のぬくもり、感触、匂いを感じさせることで、子どもも大人も自然とつながるきっかけを作った。

森のフェスティバル (11/23 実施)

【森のピクニック】

音楽ライブや親子ヨガ、木材を利用した体験型ワークショップなど開催。



ウォーキングイベント



食イベント



木育イベント



森のフェスティバル

東京プロモーション（12/11 実施）

【真鶴の森から考える、これからの森林】

東京で実施する真鶴の森について考えるトークショー。真鶴に関わるゲストを迎え自然豊かな真鶴での暮らし、真鶴と日本の森林の未来についてのトークを展開した。

メディアプロモーション

【雑誌「ソトコト」掲載など】

イベントを通じ真鶴の魅力を雑誌「ソトコト」にて計3回掲載。またネットを通じた真鶴のPRを展開。ホームページ「つながる森」/ Facebook「ソトコト」/ ホームページ「KDDI」/ ホームページ「KDDI Run Pit」

ムーンロード観察会（8月20日、11月13日実施）

写真家の座学と実際に真鶴岬からのムーンロードを撮影しながら写真講座を実施。

KDDI / RunPit イベント（8/20、9/25、11/23）

RunPit 専属コーチを迎え、健康寿命や生活習慣についての講座をはじめ、未病を防ぐエクササイズなどを実施した。



東京プロモーション



メディアプロモーション



KDDI / RunPit
イベント

ムーンロード観察会

森の駅改修事業（ハード）

首都圏最大級の魚付き保安林「御林」の恵みを体感していただく拠点「森の駅 - ケープ真鶴」をビジターセンターとしてリニューアルし、健康づくりを体験する拠点として確立する。また、高齢者、身体の不自由な方も安全で安心して利用できる施設とすることで、「未病いやしの里の駅」としての機能をより一層向上させる。

平成 27 年度

空調設備のリニューアルを実施。

平成 28 年度

休憩室の改修、足湯施設の設置、トイレの洋式化、照明器具の改修を実施。

2. 事業の効果

首都圏最大級の魚つき保安林、県立真鶴半島自然公園を、未病を改善する森として産官学連携事業により広くプロモーションし、効果的なイベントを開催することで、観光の魅力向上に加え、移住・定住につながる若い世代の真鶴ファンを獲得することができた。

また、森のビジターセンター「森の駅-ケープ真鶴」として来場者を受け入れる基本的な体制を整えることができ、癒しを求めて来られた皆様に満足される「環境観光施設」へとリニューアルすることができた。

今後の展開としては、魚付き保安林の保全と合わせ、森を楽しむ活用方法を見出し、町内外へ発信していく。また、他団体との連携を密にし、「森の駅-ケープ真鶴」を森と海のビジターセンターとして充実させ、森と海の癒しの場として全国へ展開していくことで、更なる地域活性化へとつなげていく。